

一 笹ノ露 刀ノ名

○天祥院殿の時召抱ヘラレシ田中伊織 ソノ子傳左衛門ト称セシハ 子孫代々ニ仕ヘタリシガ 予ガ代トナリ故アリテ暇遣シタリ 彼先ハ関原御陣ノ後落人 三成ヲ生捕タル者ニソ 世皆ヨク姓名ヲ識ル所 暇遣ハセシ者モ亦傳左衛門ト称シキ 家ヲ出去ルキ遣シ眞シ一ツノ刀アリ 今流轉ノ川崎某ト云者所持ス 即ソノ圖ト所傳ノユエヲ集録ス

中略

コノ刀ヲ田中ガ家ニ傳ヘシハ 始メ神祖ヨリ賜ハリシ物ト云 其賜ハリシ故ハ 三成敗北ノ後尾州郷戸川ノ川辺蘆中ニ隠レ居シヲ 田中兵部大輔生捕テ上ル 因テソノ御賞トソ田中ニ賜ハリシ物ト 又コノ刀ノ故ハ 三成捕ハルキ從士二人随ヒキタリシガコレヲ見テ手剛ク働シニ 竟ニカナハズノ三成擒レタリ コノキ三成帶キタリシ刀ヲ形身トソ彼從士ニ與ヘタルヲ取傳ヘリト 暇遣タル傳左衛門ガ語レリ

中略

又家中先祖書ニ

天祥院殿ノキ召抱ラレシヲ田中伊織ト称シ 生國近江 大阪御陣ノキ手首尾 有リト見ヘ 其子傳左衛門ト称ストアレバ 正シク関原ノキ傳左衛門ト称セシ者 後伊織佐ト云シナルベシ サレバ此刀ハ兵部大輔力勲賞ノ物ナルヲ カノ生捕ノ手柄ニ傳左衛門ヘ傳ヘタルナラン

又コノ刀ノ鍛冶ヲ田中ガ傳ヘシハ京信国ナルヨシ 然ルヲ當所持ノ者本阿弥氏ヘ鑿セシメタルニ 日備後國員正真ト見エテ金拾枚ノ代付クベシト 為レバ

作者モ違ヘルカ 古刀大全備後刀ノ條 古三原正家ノ系ニ 正真 貝三原ト云 木梨正近ノ子ト見ユ 此人ナリ

又今主ノ言ニ 刀直焼ニテニエ少クニホヒ勝ノ出キナリ 地鉄至テコマカニソ金強ニ見ユト 中略

又田中ガ傳ヘシ話ニ 彼ガ前代ソノ若黨不埒ノ一アリテ見逃シ難ケレド 主ハ不在ナレバソノ妻コノ刀ヲ以手討セシニ手ニコタヘズ 若黨ハ急ギ戸ヲ開テ逃去リケレバ妻ハ心ナラズノキタリシガ 門外四五間ノ堀ニ行當リ袈カケニ離レテ斃レタリトゾ 是ラ笹ノ露ト云フ興リカ

又コノ田中氏當家ニ仕テ 伊織ヨリノ後代々ノ一ヲ見ルニ浮沈一ナラズ 遂ニ予ガ代トナリ家ヲ出テ零落セリ石田ガ怨ナキニアラス